

### 【お悩み5】 従事者の問題

「職員は専門職が必ずいるわけではない。職員確保も難しい。厨房スタッフ等も含めて誰かスタッフはいるようにはしている。」

「他の業務の多忙さより広報活動が十分行えない」

### 【皆さんからの意見】

- ・ ボランティア 13 名が運営に関わっている。
- ・ 毎回、高齢者 50 名+子ども 30 名+施設の利用者で 100 名ぐらい参加で満員。食事作りは戦争状態
- ・ 立ち上げた人に誘われてお手伝いをしている。

### 【課題】

スタッフの高齢化や、思いのあるスタッフや後継者をどのようにして育てるか、次につなげていくかが今後の課題。

### 【お悩み6】 運営費用の確保に悩む

「啓発のための広告費などでお金を使うことで、運営は成り立つのか？」

### 【皆さんからの意見】

(参加費あり)

- 高齢者から 300 円の食事代金を徴収、子どもは無料。

高齢者がこどもの支援をしているというスタイルをとっている。こども食堂という事でフードバンクからお米などの提供あり。費用は赤字にはならずトントンといったところ。

- 参加費 1 回 100 円

- ・ お金はかけないよう工夫している。100 円ショップでまとめ買いするなど。1 回 100 円の参加費でお茶とお菓子・工作代を賄うよう工夫している。
- ・ 会場費：公民館の活用（自治会の協力で無料）、専門学校活用の協力
- ・ 校区の助成金をもらっている

- 参加費無料

- ・ 費用は施設負担だが、参加者が募金箱に気持ちを入れてくれる。
- ・ 費用は最初は全部施設負担だったが、最近は参加者が飲み物は持ち寄り、施設側はお菓子と場所と設備（PC・プロジェクト）を用意している。